

## 第16次調査の概要

### どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

### いつ（調査期間）

平成8(1996)年5月7日～8月23日

### だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

### 調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ285番  
調査面積 680㎡  
調査原因 農地改良事業に伴う  
主な遺構 弥生時代の宮ノ台期住居址2軒 久ヶ原期住居2軒  
主な遺物 壺形土器・甕形土器・磨製石剣先端部・有鉤銅釧・ガラス小玉4点・自然遺物(炭化米・炭化種子・獣骨・魚骨・魚歯)

特記事項 1軒の住居址（弥生中期）から磨製石剣の先端部と床面付近には土器小片が密集し、その下より獣の歯が検出されている。また、弥生後期の住居址からは有鉤銅釧とともに複雑な文様をもった壺形土器が出土している。これらの住居址は祭祀に関するものであろうか。（参考文献：『赤坂遺跡第16次調査概報・1997年3月』）



複雑な文様をもった壺形土器(所蔵：三浦市教育委員会)



写真は、発掘風景を撮影したものの。住居址を調査している様子。8月17日に撮影したもので、真夏日であるため水を撒いて酷暑の中での調査の様子が伝わってくる。（所蔵：三浦市教育委員会）